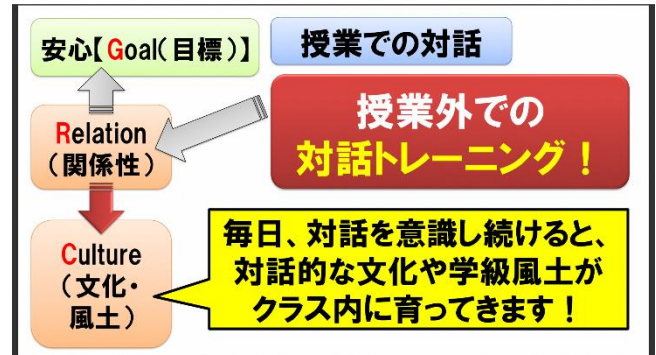


実施日：令和 8 年（2026 年）7 月 1 日

研究テーマ：多様な子どもたちが「安心」できる授業づくり・学級づくり



松浪先生のこれまでのご実践をもとに理論と合わせながらご講演いただきました。継続は力なり。毎日の対話の積み重ねがクラスの文化となり、子どもたちの成長につながることを教えていただきました。

研究会の達成目標

1. 子どもの多様なニーズを見取る力
2. 安心できる学級・授業環境をデザインする力
3. 授業 UD モデル Ver.2.0 を活用した授業改善力

●活動内容

今回は帝塚山大学より松浪軌道先生をお招きし本年度の本会のテーマである「多様な子どもたちが「安心」できる授業づくり・学級づくり」にそって、ご講演いただいた。松浪先生のこれまでの実践と理論に基づき【対話】を軸に明日から使える取り組みなどについてお話いただいた。

子どもたちが「安心」して過ごせるための要件や「対話」の必要性について、松浪先生のお考えを聞かせていただいた。途中、参加者の先生方の意見交流の場もあり、自分事として考えることができ、学びを深めることができたと感じる。また、授業の中で話し慣れ、聴き慣れをさせることも大切であるが、朝の会やすき間時間などちょっとした時間に「対話トレーニング」を取り入れることも有効であると改めてご教授いただき、実際にそのトレーニングも体験することができた。

参加者の事後アンケートを見ると「明日からすぐにでもやってみたいと思いました。」「もっとお話を聞きたくなりました。」「対話と聞くと難しいものだと思っていたが考え方が変わりました。」など、非常に前向きかつ熱量の高いご意見・ご感想をいただいた。

授業 UD においてもこれまでに「共有化」といった言葉で対話の重要性が語られてきた。今一度、授業の中でどのような対話的場面を生み出していくのかを考え授業づくりに励んでいきたいと考える。

●今後の活動

- 9 月 公開授業（現在検討中）
- 10 月 ご講演（SSW 部会とコラボ）
- 11 月 ご講演（松浪先生第 2 弾!!）
- 12 月 実践交流会